

JCES ニュース

Japan Comparative Education Society

NO.38

日本比較教育学会会員の皆様へ



日本比較教育学会第56回大会準備委員長
松尾 智則

昨今の新型コロナウイルスの猛威の中、7月10日からの第56回大会の開催を御心配頂いていることと思います。

残念ながら、東京オリンピックの延期決定や新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、学会事務局及び大会準備委員会での協議の結果、7月10日から7月12日開催予定の日本比較教育学会第56回大会(中村学園大学・中村学園大学短期大学部)は中止と決まりました。

皆様を福岡の地にお迎えするために準備を進めてまいりましたが、感染拡大予防のためにいたしかたありません。今後のことは、学会事務局とご相談の上、決まり次第お知らせさせていただきます。

最後になりましたが、既に参加申し込みを済ませている会員の皆様には謹んでお詫び申し上げます。

日本比較教育学会会長
杉村 美紀

2020年7月10日～12日に開催予定の第56回JCES大会については、福岡の中村学園大学・中村学園大学短期大学部において、準備委員長の松尾智則先生、副委員長の竹熊尚夫先生、事務局長の坂本真由美先生のもと、鋭意準備を進めてまいりました。しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染問題の急激な拡大と終息の見通しが立たないという状況に鑑み、学会理事会の総意として苦渋の決断ではございますが、第56回大会の2020年7月開催は中止し、2021年に延期するという結論に至りました。これに伴いまして、大会参加申し込み受付を中止させていただきます。大会準備委員会の先生方にはこれまでご準備いただいておりますことに対し心よりお礼申し上げます。

なお、すでに大会に関連してお支払いいただきました参加費、情報交換会費、広告料につきましては払い戻しの手続きを個別に取らせていただきます。また来年2021年の大会開催につきましては、開催場所・日時が決まりましたら別途ご連絡申し上げます。参加をご予定くださっていた皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解賜ればと存じます。日本比較教育学会に対する日頃のご協力に感謝申し上げますとともに、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

● 各種委員会からのお知らせ

紀要編集委員会

委員長 澤村 信英

紀要編集委員会では、『比較教育学研究』第61号の自由投稿論文の審査および特集、書評・文献紹介の準備を進めています。投稿に際しましては、投稿要領に沿っているか十分に確認していただきますようお願いいたします。よく見られる誤りは、注記や参考文献だけ本文より小さい文字サイズを使用、行数を多く設定し、既定の枚数に文章を押し込めようとするものです。このような場合、いわゆる形式審査で不合格となります。ご不明な点がある際は、あらかじめ編集委員会事務局までご確認ください。

第62号の投稿締め切りは、2020年7月20日(当日消印有効)となっています。第62号からは、次期の編集委員会の担当となりますので、新編集委員会事務局の宛先をご確認いただければ幸いです(現事務局に届いたものは、新事務局に転送します)。事務局の移行中、ご質問等につきましては、現編集委員会で対応いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

【連絡先】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2

大阪大学大学院人間科学研究科

澤村信英研究室気付

日本比較教育学会紀要編集委員会事務局

Tel: 06-6879-8101 (澤村研究室)

Fax: 06-6879-8064 (国際協力学研究分野)

Email: jces.handai@gmail.com

研究委員会

委員長 森下 稔

研究委員会が推進している学会科研2本について報告します。まず、ボーダー科研の成果の一部が『比較教育学研究』第60号特集として掲載されました。第55回大会課題研究Ⅱにおける岩下明裕氏の講演録と4本の論文から構成されています。また、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターが発行する雑誌『境界研究』第10号(2020年3月刊)への「研究動向論文」投稿を依頼され、拙論「ボーダースタディーズに出会った比較教育学の研究動向」が掲載されました。近日中にオンライン版が公開されます。さらに、ホームページを開設しました。<http://border-kaken.officialblog.jp/> (試験運用中) いずれもご一読いただければと願います。海外渡航がほぼ難しくなっている状況ではありますが、今後も科研メンバーの力を合わせて推進して参ります。

次に、ウスキー科研では延期された第56回大会に向けて、課題研究Ⅱ企画を研究代表者の乾美紀委員長が中心となって検討し、「学校に行けない子どもたち(OOSCY)とは:アセアン諸国における就学阻害要因と教育協力ネットワークの展開」(仮)をテーマとすることにしました。2018年度から実施してきた調査結果をもとに、フィールドに見られるOOSCYの特徴に焦点を当て、①学校に行くことができない原因、②現在置かれた状況をどのような方法で打開しようとしているかについて報告する計画です。

若手研究者に対する研究支援事業として、第54回、第55回の大会におけるラウンドテーブルで議論してきた「比較教育学を学ぶ人のためのアカデミック・キャリア」の書籍化計画を進めています。山内前委員長のもとで出版された「若手研究者必携」のシリーズ第2弾とします。鴨川明子委員と市川桂委員が中心となって、中止となった2020年7月の大会で登壇予定であった方々にも執筆を依頼して、5部16章からなる多面的な若手のキャリアを描く構想です。2020年12月頃の刊行を目指しています。

若手会員支援事業の一つの試みとして、2019年10月5日(土)に京都大学と東京海洋大学において、「若手会員のための科学研究費補助金申請支援講座」を開催しました。京都8人、東京8人、合計16人の参加がありました。後日アンケートを実施したところ、13人から回答が寄せられました。結果の一部を紹介すると、ほとんどが若手研究に申請されています。また、満足度については2人が低く、11人が高いとのことでした。改善を要する点を含みつつも、概ね好評であったと思われます。今後も継続するかどうかは、講座の内容とアンケート結果を次期の研究委員会に引き継ぎ、判断を委ねることとさせていただきます。

2020年度から次期の委員会に引き継ぎますが、学会科研や書籍化などの事業については成果や完成を見るまで、現在の委員で推進して参ります。

国際交流委員会では、現在学会のホームページにあります「世界の比較教育学会関連リンク」をさらに充実させ、新たに「比較教育学研究・国際交流リソースリンク集」を作成しています。会員の皆様の比較教育学研究並びに講義や学生の研究指導に活用できるようなWebリソースを目指して、「世界の比較教育学会」「比較国際教育関係文献データベース」「各国教育状況・教育政策」「比較国際教育関係数量データ」「教育関連主要国際法・条約・枠組・勧告」「教育関連主要国際会議・国際機関政策文書・報告書」「比較国際教育分野別リソース」の7項目(案)で構成されたリンク集です。現在、最終化の作業を行っており、現委員会の任期が終わる6月中には学会ホームページに掲載する計画です。ご期待ください!

● 世界比較教育学会 (WCCES) からのお知らせ

会長 杉村 美紀

1. すでにMLでもお伝えしておりますとおり、2020年7月6~8日にポルトガルのリスボンで予定されていた第3回WCCESシンポジウムは、COVID-19問題のため、延期となりました。変更後の日程等は後日わかり次第お伝えします。
2. 2022年の第18回世界比較教育学会大会は、オセアニア比較教育学会およびインド洋比較教育学会の共催により開催予定ですが、場所が当初のケアンズよりインドのバンガロールになりました。
3. WCCESシンポジウムを基にした論文集WCCES Seriesの第1冊目が、本年Brill/Senseより出版される予定です。
4. WCCESのウェブサイトでは、2017年からWorld Voices Nexus: The WCCES Chronicleという研究や意見の投稿サイトが設けられています。ご関心のある方は、以下のサイトをご参照ください。
<https://www.worldcces.org/about-wvn.html>

● 学会への寄贈図書紹介

以下の図書を、著者・出版社より本学会にご寄贈いただきました。厚くお礼を申し上げます。なお、紀要および研究報告書の寄贈については、数量多数のため、掲載を割愛させていただきます。ご了承ください。

- ・ 大森秀子 (2019) 『成瀬仁蔵の帰一思想と女子高等教育—比較教育文化史的研究—』 東信堂。
- ・ 瀧谷佳奈 (2020) 『現代ドイツの倫理・道徳教育にみる多様性と連携—中等教育の宗教科と倫理・哲学科との関係史—』 風間書房。
- ・ 久田敏彦 (2019) 『PISA後のドイツにおける学力向上政策と教育方法改革』 八千代出版。
- ・ 三輪定宣 (2019) 『教育学概論 第二版』 学文社。
- ・ OECD・EU編集 (2020) 『図表でみる移民統合 OECD/EU インディケータ (2018年版)』 (斎藤里美・三浦綾希子・藤浪海監訳) 明石書店。

図書・刊行物の送付、学会運営に関する連絡

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
上智大学FGS 日本比較教育学会事務局 (丸山研究室)
E-mail: jcesjim@outlook.jp

● 新入会員

<WEB版では非公開>

(2020年3月31日現在の会員数：983名)

● 年会費納入のお願い

年会費納入状況をご確認いただき、未納分がある方は下記の口座へ早めのご納入をお願いいたします。紀要は年2回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

〔郵便振替口座〕 00820-6-16161 日本比較教育学会事務局

【注意】

- ◇ 所属機関名にて振込を行われる場合は、該当会員を特定することが難しいため、必ずガリレオ事務局へご連絡をお願いします。
- ◇ 「学生会員」として登録されている会員で、所属・身分等の変更により「学生」でなくなった方は、会員情報管理システムにて通常会員へ資格変更の上、通常会員としての年会費（10,000円）をお支払いください。

会員情報、入退会、会費、システム、HPIに関する連絡

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1
第2ユニオンビル4F
(株)ガリレオ東京オフィス学会業務情報化センター内
日本比較教育学会事務局
Tel : 03-5981-9824/ Fax : 03-5981-9852
E-mail : g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp
URL : <http://www.gakkai.ne.jp/jces/>

総会の開催について

日本比較教育学会では、本会の最高決議機関である総会の開催について、「年一回これを開き本会の重要事項を審議決定する。」（会則第5章第18条）とされています。

第56回大会は延期となりましたが、毎年、大会の際に開催されている総会につきましては、実施方法を工夫したかたちで、バーチャルな形式で開催させていただく予定です。詳細については、また追ってメーリングリストを通じてお知らせいたします。

役員選挙の実施について

本年2020年は3年に一度の役員選挙が実施されます。

理事選挙は4月9日（木）から4月23日（木）の期間で行われる予定です。

会員の皆さまにはもれなく投票いただきますようお願いいたします。

（編集後記）

新型コロナウイルスによる影響は今でもどこまで拡大するか見えない中、学会大会の開催について実行委員会と事務局およびガリレオで綱渡りのような対応をさせていただきました。ニューズレターの発行が例年より遅くなりましたこと、事務局としてお詫び申し上げます。

会員の皆様の安全とご健康、そして世界が無事でサステナブルでありますことを祈念して。また皆様とお会いして議論する機会が一刻も早く訪れることを願っております。

（日本比較教育学会事務局）